

地球温暖化防止に向けての対策

—第6次評価サイクルにおける IPCC の活動と今後の取り組み—

気候変動の国際交渉では、2015年12月の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において採択された、2020年以降の温暖化対策に関する国際枠組み「パリ協定」が、2016年11月に発効しました。直後に開かれた第22回締約国会議(COP22)において同協定の具体的な実施ルールの採択に向けた作業計画が合意される等、公平かつ実効的な枠組みを構築するための議論が着実に進められています。

温暖化に関する最新の科学的知見を提供する役割を担う「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」においても、パリ協定の採択・発効を受けて、2015年から2022年までの「第6次評価サイクル」における各種報告書作成に向けた作業が加速しています。2016年10月には、COP21で提供を招請された「1.5°C気温上昇(産業革命前比)による影響とそれに関連する排出経路に関する特別報告書」のアウトライン(章立て)が決定しました。また、「第6次評価報告書」については、作成スケジュールが2016年4月に合意されており、2017年5月にはアウトラインに関する議論が開始される見込みです。

こうした動きを踏まえ、今回のIPCCシンポジウムでは、これらのIPCC報告書のアウトラインやその内容に関する概要、盛り込まれるべき重要な論点や今後の取り組み課題等に関して、IPCC第三作業部会(温室効果ガスの排出削減等、気候変動の緩和に係る作業部会)の共同議長であるシクラ博士をはじめとする国内外の専門家よりご講演を頂き、更に、後半のパネルディスカッションでは、各界からの有識者にも加わって頂き、IPCCへの期待と課題、および温暖化対策への取り組み方について議論を行う予定です。

日時

2017年 **1月26日(木)**

13:00~17:15(受付開始:12:30から)

会場

発明会館 地下ホール
東京都港区虎ノ門2-9-14

定員：250人

参加費無料

言語：日本語、英語(同時通訳有り)

主催：経済産業省

共催：公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)



- ・東京メトロ 銀座線 虎ノ門駅 3番出口 / 徒歩 5分
- ・東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 4番出口 / 徒歩 6分
- ・東京メトロ 千代田線 霞ヶ関駅 A13 番出口 / 徒歩 10分

PROGRAM

12:30 受付開始

13:00 開会・主催者挨拶 経済産業省

13:05 ビデオレター IPCC 第三作業部会 共同議長 Dr. Jim Skea

13:10 基調講演 「第6次評価報告書サイクル（AR6）における
気候変動に関する政府間パネル（IPCC）活動と展望」
IPCC 第三作業部会 共同議長 Dr. Priyadarshi R. Shukla

13:50 講演 「IPCC の今後の役割」
茅 陽一 （公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長、
IPCC 国内連絡会座長）

14:20 講演 「地球温暖化対策の長期戦略とイノベーション」
杉山大志 （一般財団法人 電力中央研究所 上席研究員、
IPCC 第5次評価報告書第三作業部会報告 第15章総括執筆者）

14:50 休憩

15:05 パネルディスカッション

テーマ：IPCC への期待と課題、および温暖化対策への取り組み方について

モデレータ：山口光恒 （公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 参与）

パネリスト：Dr. Priyadarshi R. Shukla（IPCC 第三作業部会 共同議長）

杉山 大志 （一般財団法人 電力中央研究所 上席研究員）

秋元 圭吾 （公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
システム研究グループリーダー）

大沼 あゆみ （慶應義塾大学経済学部 教授）

手塚 宏之 （一般社団法人 日本経済団体連合会
環境安全委員会 国際環境戦略ワーキング・グループ座長）

松本 真由美 （東京大学教養学部附属教養教育高度化機構
環境エネルギー科学特別部門 客員准教授）

17:05 閉会挨拶

問い合わせ先

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 高木、出口、辰巳

〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9-2 TEL：0774-75-2302 FAX：0774-75-2314
E-mail：symposium@rite.or.jp <http://www.rite.or.jp>